

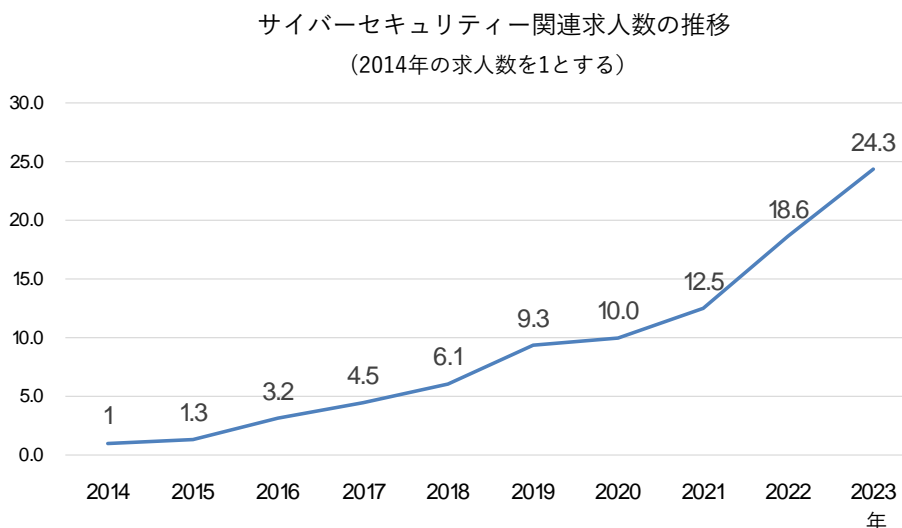
2024年 3月 15日

## サイバーセキュリティ関連求人、2014年比で24.3倍に増加 生成AIを悪用するサイバー攻撃への対応でさらに加速 即戦力人材の採用は「レッドオーシャン」。転職時の年収は上昇傾向

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）は、サイバーセキュリティに関する求人（定義は最終ページに記載）と転職の動向についてまとめましたので、ご報告いたします。

### サイバーセキュリティ関連の求人が急増 ～10年の変遷～

解説者：HR エージェント Division ハイキャリア・グローバルコンサルティング 1部 コンサルタント 丹野 俊彦



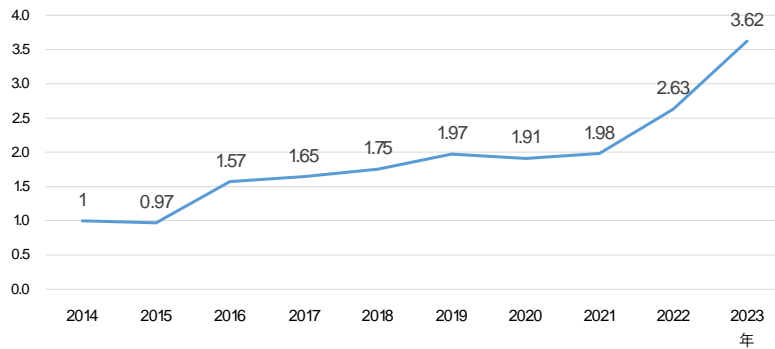
『リクルートエージェント』におけるサイバーセキュリティ関連の求人数推移を分析すると、2014年を1とした際、2023年は24.3倍と大きく伸長しています。サイバー攻撃への懸念の高まりから右肩上がり推移していますが、特に2018年から2019年にかけてと、2020年以降で求人の伸びが大きくなっています。

2018年から2019年にかけての伸長の背景には、2020年に開催予定だった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（2021年に延期）があるとみられます。世界的に注目を集めるイベントだけに、重要インフラを狙ったサイバーテロへの懸念が高まった中、サイバーセキュリティに関する求人が大幅に増加しました。

2020年以降の求人の伸びは、新型コロナウイルス感染症の流行がきっかけとなったと考えられます。感染拡大防止のため自宅などでのテレワークへの移行に伴い、VPN（バーチャル・プライベート・ネットワーク）経由で社内システムにアクセスする機会が増えた時期です。こうした社会情勢下、VPN機器の脆弱性を突いたサイバー攻撃が多発。事業停止に追い込まれる事態も散見され、企業がサイバーセキュリティを強化するニーズが一層高まりました。

サイバーセキュリティが重大な経営リスクだという認識が広がる中、昨今では機密情報の窃取を狙う「標的型メール」や、コンピューターの動作に不正を起こさせる「マルウェア」、うその動画や音声を人工的に合成する「ディープフェイク」などの作成に生成AIが悪用されているとも指摘されています。サイバー攻撃のリスクが高まり続ける中、求人も加速度的に増加の一途をたどっています。

サイバーセキュリティ関連求人への転職者数推移  
(2014年の転職者数を1とする)



一方、転職者数の伸びは2014年比で3.62倍でした。近年は急増しているものの、求人数の急激な伸び幅と比べると小さく、企業のサイバーセキュリティ関連人材へのニーズに転職者数が追いつかない状況が表れています。

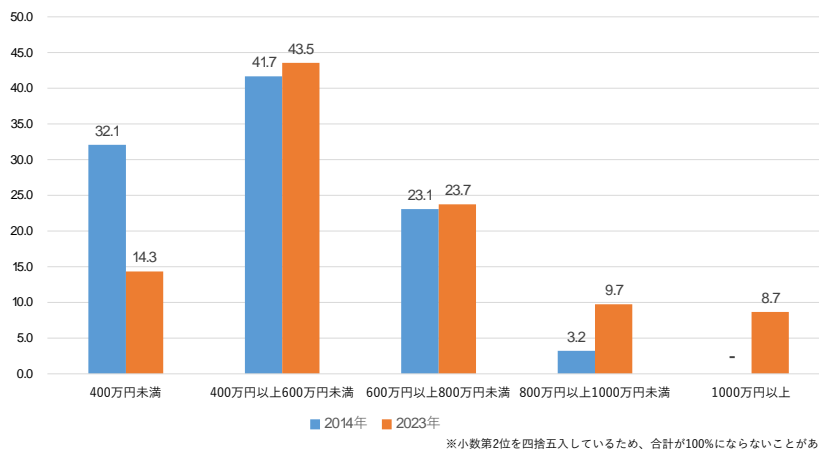
企業が求めるスキルを備えた人材は、転職市場に多くはいません。熾烈な人材獲得競争となっており、採用状況は「レッドオーシャン中のレッドオーシャン」だと言えます。即戦力の人材には市況感に応じた魅力的な年収を提示しないと、採用は難しくなっています。

サイバーセキュリティを強化したい企業は、セキュリティ対策の実務経験がなくても活躍の可能性がある方を採用し、自社で育成する覚悟が求められています。セキュリティ部門での実務経験がないITエンジニアがサイバーセキュリティ対策のエンジニアへと転職する事例もあります。企業は改めて人材要件を見直し、どんな方が活躍する可能性があるのか再考し、従来の採用戦略を見直すことが求められています。

サイバー攻撃対策は「守り」の領域なだけに、ものづくり志向のITエンジニアには敬遠される側面もあります。企業はサイバーセキュリティ関連の仕事の魅力を高め、求職者にアピールする工夫が必要です。

### サイバーセキュリティ関連求人への転職時の年収は800万円以上の割合が増加

2014年と2023年の転職時に提示された年収の比較 (%)



『リクルートエージェント』におけるサイバーセキュリティ関連求人への転職時に提示された年収について、2014年と2023年を比較したところ、800万円以上1000万円未満の割合が3.2%から9.7%に増加していました。2014年には見られなかった1000万円以上の割合は、8.7%まで増えました。一方で、400万円未満の割合は32.1%から14.3%に減少しています。サイバーセキュリティ関連求人への転職時には、高い年収が提示されるようになってきた傾向が表れていると言えます。

## サイバーセキュリティ実務未経験者の転職事例とその背景

### ■正社員領域

サイバーセキュリティ対策の実務経験がなくサイバーセキュリティ領域に転職することが多い IT エンジニアとして、主にネットワークの構築や保守、運用を担う「ネットワークエンジニア」や、業務用アプリケーションなどの開発を担う「アプリケーションエンジニア」が挙げられます。

前職の職種	主な転職後の仕事	転職後に生かせるスキル
ネットワーク エンジニア	セキュリティコンサルタント セキュリティアナリスト	社内外でのネットワーク構築の経験 ネットワークのシステム構造への理解
アプリケーション エンジニア	サイバーセキュリティ関連の アプリケーション開発	開発要件をまとめ、プログラミングの コードが書けること。業務用アプリケーション開発で培った技術

ネットワークエンジニアは社内や顧客のネットワーク構築の経験からネットワークの構造に造詣があるため、決して漏えいしてはならない情報を守るために必要なシステム上の戦略を立てたり、不備を指摘したりすることへの素養があります。リスクを分析し、顧客が目指すべきサイバーセキュリティ体制を提案する「セキュリティコンサルタント」や「セキュリティアナリスト」として転職し、活躍されている方が多いです。

このほか、アプリケーションエンジニアとして培われた業務用アプリケーションの開発スキルをそのまま生かし、サイバーセキュリティ関連のアプリケーション開発を担われている方もいらっしゃいます。

サイバーセキュリティ実務未経験でこの領域を志す方の多くがその理由について、サイバー攻撃のリスクが日を追うごとに増す中で高まるサイバーセキュリティの重要性や、サイバーセキュリティの専門家としての将来性を挙げられています。情報セキュリティに関する知識・技能を有する者を認定する「情報処理安全確保支援士」や、国際的に認められた認定資格「CISSP」といった資格を持つておくことは、転職活動の際に有利に働くでしょう。新たな脅威が日々生まれる世界だけに、サイバーセキュリティを巡る情報のアンテナを張っておくことも重要と言えます。

### ■派遣領域

リクルートのグループ会社である株式会社スタッフサービスで、IT エンジニアの人材派遣を担うスタッフサービス・エンジニアリング（以下、SSE）を通じて派遣される方の中には、派遣期間での実務や研修を経て、サイバーセキュリティ領域のエンジニアとして正社員に転換するケースもあります。

もともとホテルスタッフだった男性は、派遣先の携帯電話メーカーでは損益計算や原価計算、自動車メーカーの生産管理部門ではブレーキの評価業務など、複数の派遣先にて経験を積む傍ら、SSE の資格取得支援制度を活用。「情報処理安全確保支援士」の資格を取得した後、派遣先と直接雇用を結ぶ正社員になりました。サイバーセキュリティ分野に特化したいという意向から、Sler のサイバーセキュリティコンサルタントとして転職。現在は、インシデント発生時に端末やネットワーク内の情報を収集し、被害の状況や原因を解明する「フォレンジック」のエンジニアとして活躍されています。

## 調査概要

調査方法：『リクルートエージェント』 求人データ・転職者データの分析

調査対象：『リクルートエージェント』 求人データ・転職者データ

調査実施期間：2014年～2023年

調査機関：リクルート

### ■サイバーセキュリティ関連求人の定義、抽出方法

『リクルートエージェント』の求人の「求人タイトル」または「仕事の内容」から、「セキュリティ」と表記があるものを抽出。このうち、経済産業省の公表資料で「セキュリティ人材」と定義されている「セキュリティ経営」、「セキュリティ統括」、「セキュリティ監査」、「脆弱性診断・ペネトレーションテスト」、「セキュリティ監視・運用」、「セキュリティ調査分析・研究開発」に関わる職種を選別した。

### ■解説者：『リクルートエージェント』 IT・通信業界担当コンサルタント 丹野 俊彦

新卒で国内証券会社に入社。営業と人事採用担当を経験後、2007年にリクルートエージェント（現リクルート）に入社。ITを中心に、金融、建設など幅広い業界の企業の採用支援および個人の転職支援を担当。面接力向上セミナー講師などを経て、現在は事業会社のIT、DX領域の採用支援および、ITエンジニア、ITコンサルタントのキャリア支援に従事。



### ■データ分析担当：HR 横断リサーチ推進部 研究員 菊池 満帆

新卒でパナソニック株式会社に入社し、機構設計エンジニアとして特に熱設計およびCAEを用いた熱シミュレーション業務に従事。その後リクルート（旧リクルートキャリア）に入社し、ハイキャリア・グローバルコンサルティング部に配属。営業およびコンサルタントとして、ハイキャリア領域の製造業分野の企業および求職者の支援に従事。現在は中途、新卒、アルバイト・パート領域等HR全般の市場調査やデータ分析を担当。



本件に関する

お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここがない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>